シムウェルマン株式会社　社会貢献事業

しろくまの会

強い自立経営力を手に入れる

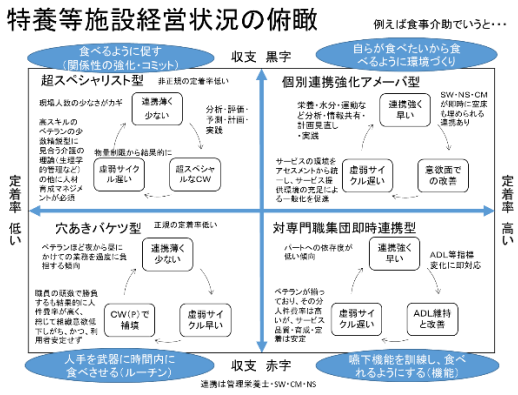
混迷する日本経済。
しろくまの会は、
社会保障・社会構造の変化を読み取り、社会福祉事業の健全な永続性を担保するためのアクションを考え実践する会です。当会会費収入によって社会的弱者である児童養護施設卒園児・者の自立支援資金を創出しています。

介護力を上げる

【自立（自律）に資する介護の実践研究】＆【記録の合理化による現場の省力化】

私たちは２０１１年度から、特養を経営されている方々と一緒に研究を開始し、介護の理論化と合わせて専用の記録ソフトを開発ました。
２０１５年度からは“しろくまの会の会員様”に、「気づきプランナー自立支援介護システム」をお使いいただき、ご利用者のＢＰＳＤを軽減させる介入方法や、ＡＤＬ、ＩＡＤＬへの働きかけに有効と思われる「意欲面への介入方法」などを、日々の記録内容を分析することで見出し、シェアする取り組みを行っています。介護現場の負担を記録だけでなく、実務の面においても効率化（合理化）することに役立てています。

２０１１年に特養の経営モデルを整理する取り組みを開始し、様々な因子を俯瞰して以下のような４つの領域を仮説設定しました。



ご利用者への支援方法の違いは、収支の状態と定着率の高低にも影響を受け合っていることを見出しました。ご利用者ご自身のADL や IADL に影響を与える介入方法と、介護職員等の伸ばすべき専門性の定義を進め、介護専門施設としてのノウハウの明確化によって、キャリアパスの質を向上させていく取り組みにも展開しています。
記録の ICT 化による合理化だけではなく、介護の質そのものを変えていき、ご利用者の支援が向上し、収支を安定化させるといった好循環を作り出すために、“しろくまの会”の会員様には研究事業に率先してご参加を戴いております。

ケアプラン作成の根拠を充実化させることや、介護現場で科学的根拠に基づいた介入の実践が行えるように改善がなされています。
介護職員の専門性に対する意欲の向上は、そのまま定着率の向上にも寄与しています。これらの取り組みをいただくことによって、結果的に施設経営の盤石化にも好循環を与えており、単純な人件費コストの削減などの施策によらない経営戦略の選択肢を得ることができるのも施設にとっては魅力の一つとなっています。

お問い合わせは、シムウェルマン株式会社「しろくまの会 自立支援介護実践研究」担当：武田（たけだ）まで
e-mail は jiritsu@simwelman.com

施設経営の要 財務

気づきプランナー 財務管理システム

“しろくまの会”会員様は、社会福祉法人会計基準に準拠した専用ソフト「気づきプランナー財務管理システム」をお使いいただけます。クラウドのシステムですから、ネット環境などが整ってさえいれば、今日からすぐにご使用になれます。

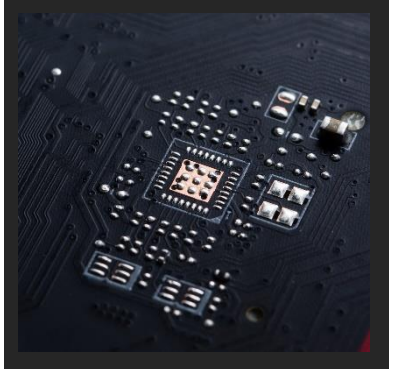
財務管理における“気づき”とは何でしょうか。“しろくまの会”の会員様は、以下のようなメリットを享受できます。
１．低廉な価格でシステムが利用できるので、固定費の削減に繋がる。
２．会員様の決算データとの比較分析がされることにより（ご希望の場合）、自施設のコスト感や、収入額の評価ができる。
３．ご希望によって、通知などに基づいた決算会計処理の妥当性をチェック致します。特に、保育園などは積立だけでなく、資金の使途などについても細かな取り扱いが定められており、翌年度以降の加算が停止される恐れもあります。
４．ご希望によっては、会計入力業務がアウトソーシングできるので、会計担当者の方が長期のお休みを取らざるを得ないときや、病気になられた場合のサポート、定年退職後に引き継ぐ対象者が決まらないときなどにお役立てていただけます。

財務システムのご活用先様には、ご希望によって年に一度、財務分析（エリア別・業種別）を実施致します。特に、同業者との比較分析を行うことをご所望される場合には、有益な経営情報となるはずです。

お問い合わせはシムウェルマン株式会社「しろくまの会 財務システム」担当：福田（ふくだ）まで

e-mail は zaimu@simwelman.com

財務管理の力



を経営に活かす

しろくまの会

新型コロナウィルスとの共生社会が始まりました。これからの社会福祉施設の経営においては、施設の衛生環境の最適化に向けたマネジメントが不可欠になります。
危険な状態を知らず知らずのうちに放置しているなど、意図せずに経営リスクを高めているケースが多く見受けられます。衛生環境の変化は経営環境の変化でもあるのです。

ウィズ コロナの時代に

令和２年の５月にご訪問したある特養でのことです。日常的に行き届いた清掃を自負されていましたので、衛生度チェックサービスを受けるまでは、自施設の状態には大きな自信をもたれていらっしゃいましたが・・・

施設内で感染者が発生した場合には、どのように隔離等行うか。国や自治体から示される情報や通達によって、知識を実践レベルにまで昇華させる必要があるだけではなく、隔離用の簡易的な陰圧

施設内の汚れは意外なところにデイやショート、保育や就労支援、それぞれに応じた配慮が必要だ

なぜこんな数値が！
施設長は青ざめました。
そこは、多くのご利用者が手にふれる場所であり、感染リスクが高いことが容易に想像できたからです。

設備の設置や、空調の調整、エリアのゾーニング、資材の調達、職員の安全策、職員の家族への安心や、ご利用者やご家族の安全に対する配慮が十分に行えているかなど、考えるべきこと、やるべきことは山積しています。
他がやっていないから、うちもこのままで・・・というわけにはいきません。

新型コロナウイルスが世界中に蔓延、我が国内でも緊急事態宣言が発出されるに至り、国民の生活は一変しました。福祉事業者にも非常に大きな影響がもたらされ、ご利用者にとって生命の危機に直結する感染リスクとの対峙、利用控えによる経営への大打撃、職員の安全をまもる処置と人員の調整など、幾多の困難課題と向き合う日々が続いています。

そのようななか私たちは、この「ウィズ・コロナ」の時代をしっかりと生き残らなければなりません。
国から示される諸策をフルに活用してサービスを死守し、利用者の暮らしをまもり抜く使命が課せられています。そしてコロナ禍を乗り越えた後に訪れる「アフター・コロナ」に想定される課題（介護・福祉難民の増加、社会資源の崩壊や弱体化による地域包括ケアの断絶、経済後退による雑多な人材の一時的な福祉・介護分野への流入等）をクリアする強靭な基盤と確かなケア力を備えた事業体としてプレゼンスを発揮することが求められます。まさに私たちは、存在意義を問われていると言って過言ではありません。

日ごろからタイムリーに情報を収集して現状を正確に把握し、まずはこのコロナショックを受け止め、ダメージを最小限に封じることが肝要です。

“しろくまの会”は衛生環境を整えるうえでのノウハウについても最新の情報を交えて勉強会（カンファレンスセミナー）を実施しています。
衛生環境チェックサービスも実施しております。

経営環境の変化 要求への対応力

児童養護施設の卒園児・者の自立を支える奨学金

今晩はどこで寝ようか
キャリーケースにすべての荷物を詰めて
生活する卒園生の大学生がいます

福祉に夢を抱き、その仕事を志した私たちには、目の前で困っている若者に差し伸べる手が無いとは言えません。

弊社代表自身も複数の企業や、社会福祉法人の経営に携わっている身であり、高齢者施設、障がい者施設、児童施設、医療施設など全ての事業の経営基盤の強化に向けた努力が欠かせない日々となっております。

だからといって、生きるか死ぬかの手前にいる児童養護卒園児・者を見て見ぬふりはしません。“しろくまの会”は、私たちが培ってきたノウハウを駆使して皆様にお届けする代わりに、戴いた会費などを彼らのために使わせていただくスキームです。

“しろくまの会”の会費徴収の主たる目的は二つあります。

一つは、会員の皆様（社会福祉法人・社会福祉施設）の経営力の強化を行う中で、実践的で互助的な次世代経営者グループの創造を行い、福祉業界の中で正しいプレゼンスを発揮されるよう支援することで、新たな社会福祉事業像を提言・実施・研究できるようにしていくことです。

もう一つは、その取り組みの中で児童養護施設を卒園した子どもたちの自立のための奨学金などへの活用です。

会員様には、会員限定での高度なコンサルティングサービスも実施しており、その対価も子供たちの自立支援に通ずる取り組み（日本児童養護実践学会などの運営費など）に活用させていただいております。

皆さまが、今お使いになられている会計ソフトや介護記録ソフトを変えて、自立的な経営の強化を図ろうとされているようであれば、是非、“しろくまの会”の会員にご加入ください。

会員様にご提供するサービスについて詳細をご説明・ご体験いただけるよう準備してお待ちしております。

お問い合わせは、シムウェルマン株式会社「しろくまの会 会員募集お問い合わせ」担当：舟波（ふなみ）まで

e-mail は
sirokuma@simwelman.com

熱い心と福祉の力

しろくまの会

しろくまの会　詳細のお問い合わせ ソフトのデモンストレーション等にかかわる　お申込書

お申し込みの内容の番号に〇を付してください（複数可）

１．しろくまの会 の詳細について問い合わせをしたい
２．使用できるソフトウェアのデモンストレーションを見たい
３．会員向けコンサルティングサービスの問い合わせをしたい
４．その他のご相談

お申込日　西暦　　年　　月　　日

シムウェルマン（株）しろくまの会　事務局　行

FAX　03-5211-2859

◆下欄にご記入ください

貴法人名	
貴施設名	
施設における主たる事業の種別	
施設のご住所	
フリガナ	
ご担当者様お名前	
ご担当者様所属部署・お役職	
TEL／FAX	
e-mail	

当会からのご連絡は原則 PC メールで致します。

★ご質問事項がございましたら下枠内にご記入ください

事務局記入欄

お受付内容の返答ご連絡日：　　月　　日　　時　ご連絡：メール / FAX / 電話	
デモ日時	年　月　日　時　分 ～　　分間
デモ担当者・資料準備	担当：　　準備完了日時：
しろくまの会の説明	年　月　日　時　分 ～　　分間
説明資料の準備	担当：　　準備完了日時：
その他お申し込み対応メモ	